

## 丹後地区行政相談推進協議会自主研修会

- 日時 令和2年9月30日（水）午後1時30分～4時00分
- 場所 与謝野町生涯学習センター『知遊館』（与謝野町岩滝）
- 出席者 丹後地区2市2町行政相談委員 11名中10名出席  
京都行政監視行政相談センター森本所長、吉留業務係長、村尾行政相談官  
与謝野町 与謝野町住民環境課中上主幹、鎌田主査

○ 自主研修会は、堀口協議会会長の挨拶に続き、地元与謝野町住民環境課の中上主幹からご挨拶をいただき、続いて森本所長から研修の講話をお世話になりました。



堀口丹後地区行政相談委員協議会会長



中上与謝野町住民環境課主幹

○森本所長からは、『行政評価局はこんなこともしています。』のタイトルで、総務省の組織や行政評価局の機能、業務などをパワーポイントと資料でわかりやすく紹介していただきました。



森本京都行政監視行政相談センター所長



研修の様子

○特に主要業務のひとつである「行政評価調査」では、「要保護児童の社会的養護に関する実態調査」と「外来種対策の推進に関する政策評価」の2つのテーマ

について紹介いただき、広範な評価分野と綿密な調査内容に驚くと共に普段は聞くことができない貴重な調査報告に全員が熱心に耳を傾けました。

○また、行政相談を基に行政苦情救済推進会議の検討結果を踏まえたあっせん事例として、「インフルエンザ治癒後再出席時における医師作成書類の提出の見直し」や「車いす使用者に配慮した京都御苑内のバリアフリー化の更なる推進について」の2つをご紹介いただき、意見交換を行いました。

(あっせん事例の詳細は、総務省のHPで紹介されています。)

◇講話終了後の休憩時間には、事務局の与謝野町に準備いただいた地元でおいしいと評判のフルーツのたっぷりのショートケーキとアイスコーヒーをいただきました。ほっと一息です。

○続いて第2部では、相談センターにまとめていただいた最新の相談事例を担当した相談委員から直接に説明いただき、意見交換を行いました。

その中で、長年懸案となっていた課題に行政相談委員が入ることによりスムーズに解決できたという事例の報告があり、改めて行政相談委員としての責任の重さと公正な判断の重要性をひしひしと痛感しました。



意見交換の様子



長田丹後地区行政相談委員協議会副会長

○研修会の最後に京都相談センターから今後のスケジュールの報告があり、長田副会長の閉会の挨拶で丹後地区の自主研修は和やかなうちに終了しました。なお、円滑な司会進行は、山口監事にお世話になりました。

関係者の皆様、有意義な研修をお世話になり、ありがとうございました。

(報告：丹後地区HP委員 森岡 克成)